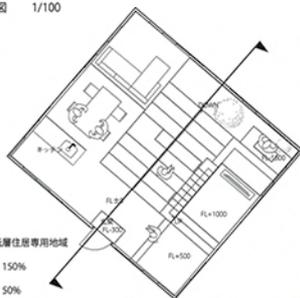


# 中庭階段のある家



■ 平面図 1/100



第一種低層住居専用地域  
容積率：150%  
建蔽率：50%

建築面積：48.9㎡

延床面積：70,944㎡

1F床面積：4,007㎡

2F床面積：30,874㎡

敷地面積：101.14㎡

容積率：70.1%

建蔽率：48.3%

1F 平面図

0 2000mm



2F 平面図

0 2000mm

## ■ 斜面に合う中庭階段



斜面の敷地をどう扱うか。



斜面に沿って階段上にスラブを挿入する。  
この階段を中心に構成する。



箱をかぶせ、外部のような室内空間を作り出す。  
中庭のような階段を作り出す。



トップライトをあげ、階段に光が降り注ぐ。

## ■ 対象敷地

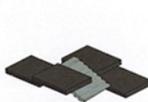


本敷地は東京都世田谷区の住宅街にあり、急斜面である。それに加え、住宅が密集しており、敷地面積も101.14㎡と狭い。日本の都市の住宅街ではよく見られる風景であり、こういった悪条件の敷地の扱い方を生み出すことができれば、日本の様々な都市で応用が可能であり、都市部の住宅の可能性が広がると考えられる。

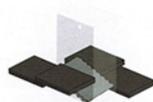
## ■ 構成ダイアグラム



階段を中心に構成される。

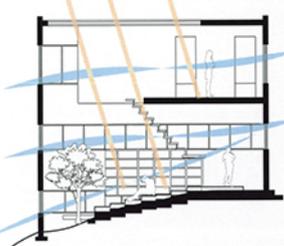


階段周りにレベル差をつけて床スラブを配置する。



階段は吹き抜けており、開放感を得る。より、外部へと近づく。

## ■ 断面図 1/100



断面図